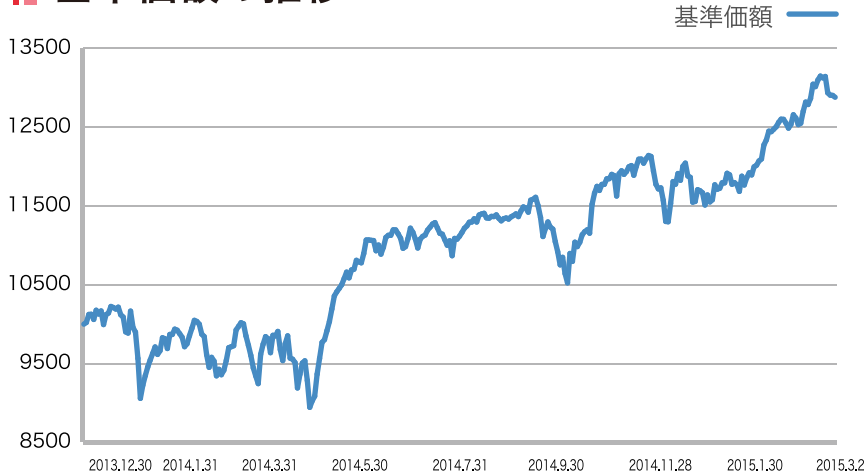




基準日 2015年3月31日付

基準価額の推移



分配実績

第1期 (2014年12月18日)
0円

ファンドのデータ

基準価額	12,881円
純資産総額	3,334百万円
受益権総口数	2,588百万口
顧客数	1,050人

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	98.9%	+4.0%
現金等	1.1%	▲4.0%
構成銘柄	52社	▲1社

基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
2.21%	8.42%	11.97%	32.62%	28.81%

運用の特色

①5～10年の中期的な視点で【変化】を捉えます

”変化し始めた企業”、”変化にチャレンジする企業”を中心に株価が割安と判断した企業に投資をします。

②50銘柄程度に厳選投資を行います

当ファンドでは50銘柄程度に厳選投資を行います。大型株から小型株までを投資対象とします。

一方で、50銘柄程度あれば分散効果も十分得られると考えています。

※ボトムアップ・アプローチを重視し、ベンチマークは設けません。

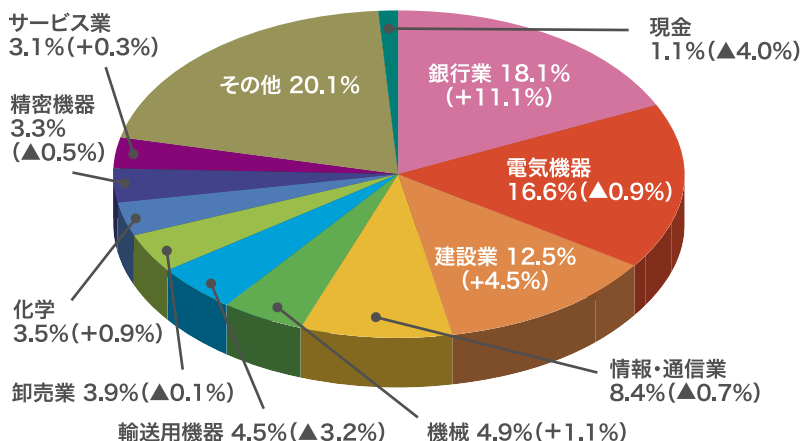
③収益を狙うタイミングと、リスクを回避するタイミングをコントロールします

市場の下落リスクなどにに基づき、株式組入比率を上げて積極的に収益を狙うタイミングと、現金等の比率を上げてリスクを回避するタイミングをコントロールすることを目指します。

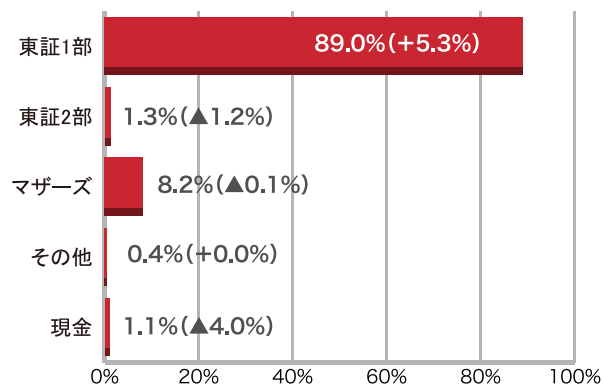
※株式への投資は、信託財産の50%超(100%～30%の範囲内)を基本とします。

基準日 2015年3月31日付

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

組入上位5銘柄

(2015年2月27日現在)

銘柄名	市場	業種	比率
東芝	東証1部	電気機器	5.0%
日立製作所	東証1部	電気機器	4.9%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	東証1部	銀行業	4.1%
デンソー	東証1部	輸送用機器	4.0%
大林組	東証1部	建設業	3.2%

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

組入上位5銘柄の紹介

(2015年2月27日現在)

銘柄名[コード]	概要
東芝 [6502]	二人の創業者の田中久重が興した「重電」の流れと、藤岡市助による「エレクトロニクス」の流れが現在の東芝の礎となっている。中長期的に、ストレージ、エネルギー、ヘルスケアを中核とした成長を目指すとともに、キャッシュフロー経営を最重視する。
日立製作所 [6501]	2008年度の巨額赤字後、マネジメントの強力なリーダーシップで進められた構造改革で強靱な組織になり、収益体質も強化されました。「インフラとITをつないで、世の中を便利にする」をモットーに、グローバルでの展開を加速。重視する「ダイバーシティ」が、成長の大きな武器になります。
三菱UFJフィナンシャル・グループ [8306]	国内最大の金融グループ。三菱東京フィナンシャル・グループとUFJグループの経営統合により誕生。中長期で、世界に選ばれる信頼のグローバル金融グループを目指す。共有する価値観は「信頼・信用」、「プロフェッショナリズムとチームワーク」、「成長と挑戦」。
デンソー [6902]	1949年にトヨタ自動車から分離独立し「日本電装」として創業。自動車市場の拡大や自動車のモジュール化(複数の機能をまとめた部品にすること)などが追い風となる。今後の成長が期待される自動運転では、ソフトウェア開発に注力するとともに、技術力を武器に強みを発揮していく見込み。
大林組 [1802]	1892年、大林芳五郎が大阪において創業した大手ゼネコン4社の一角。大阪圏だけでなく、首都圏比率も高い。早くから海外に目を向け、タイの建設市場ではトップグループに位置する。企業文化として、創業者の信条の「損して得とる支払い哲学」が受け継がれている。

市場概況と運用状況

市場環境

3月上旬は、米国株安や2014年10-12月GDP改定値が市場予想を下回るなどの悪材料がありましたが、公的機関による株式買い期待などにより底堅い展開となりました。中旬にはFRB(米連邦準備制度理事会)による米金融機関へのストレステスト(健全性審査)がほぼ全て承認されたことや、FRBの早期利上げ懸念が払拭されたことなどが相場を押し上げ、23日に日経平均は月間最高値を付けました。月末にかけては米国株安やイエメン情勢の悪化、原油高懸念などの悪材料により下落しました。3月の月間リターンは、日経平均2.18%上昇、TOPIX1.26%上昇となりました。

詳細は以下の通りです。上旬は米国が下落基調となっていることに加えて、2014年10-12月GDP改定値が市場予想を下回ったことや、1月機械受注が前月比マイナスとなるなどの悪材料があったものの、日銀や公的年金による株式購入期待、好調な企業業績を背景とした増配や自社買い期待・発表などの好材料があり、底値の堅い展開となりました。12日以降、23日まででは上値を追う堅調な推移となりました。FRBによる米金融機関へのストレステスト(健全性審査)がほぼ全てで承認されたことで金融株が上昇したことや、相次ぐ弱い景気指標の発表が早期利上げ懸念を払拭したことなどを背景に米国株が反転し、日本株もこれを好感しました。さらに中旬以降には外国人観光客急増というニュースによりインバウンド(訪日外国人)関連銘柄が相場を押し上げ、23日に日経平均は月間最高値19778円(ザラ場)となりました。月末にかけては米国株安やイエメン情勢悪化に伴う地政学的リスクの高まり、原油高懸念などの悪材料により下落に転じました。

なお当月末は上場企業の多くが通期決算を迎え、配当金を受け取る権利が確定しました(26日)。権利確定後の翌日株価は理論的に配当分だけ下落すること(「配当落ち」)になり、TOPIXにおけるこの影響は約0.8%となっています。

主な株式指数を騰落率順に見ると、東証2部(+2.91%)、JASDAQ指数(+2.57%)、日経平均株価(+2.18%)、TOPIX(+1.26%)、日経JASDAQ平均(+0.97%)、東証マザーズ指数(▲0.13%)となりました。TOPIX規模別では、ラージ70(+2.49%)、ミッド400(+1.60%)、スモール(+0.83%)、コア30(+0.16%)となりました。TOPIX業種別株価指数の騰落率上位3位は、その他製品、医薬品、サービス業。同下位3位は、鉄鋼、鉱業、パルプ・紙でした。なお33業種のうち19業種が上昇しています。

投資行動とパフォーマンス

(組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります)

◎3月のポートフォリオ

株式等組入比率は98.9%(前月末比+4.0%)に引き上げており、逆にキャッシュ比率は1.1%(同▲4.0%)に引き下げています。市場別構成比率では、東証1部89.0%(同+5.3%)、東証2部1.3%(同▲1.2%)などとなります。組入比率を引き上げた業種は、銀行業18.1%(同+11.1%)、建設業12.5%(同+4.5%)などです。逆に引き下げた業種は、輸送用機器4.5%(同▲3.2%)、繊維製品1.0%(同▲2.9%)などです。組入銘柄数は前月末より1銘柄減少し、52銘柄となりました。

◎3月の投資行動

株式等組入比率について、月初(2~4日)まもなく95%から99%台まで引き上げた以降は、中旬の大口資金流入による一時的な組入比率の低下(95%台)を除いて99%台後半を維持しました。組入業種の構成について、銀行業(7.0%→18.1%)の組入比率を大きく引き上げた一方、輸送用機器(7.7%→4.5%)や繊維製品(3.9%→1.0%)などの組入比率を引き下げました。

◎3月のファンド月間リターン

3月末の基準価額は12881円(2月末12602円)、ファンドの月間リターンは+2.21%となりました。当ファンドのパフォーマンスにプラス寄与したのは、月を通して17%程度保有していた電気機器や3%程度保有していたその他製品などの銘柄群です。当ファンドにベンチマークはありませんが、TOPIXは1.26%の上昇となっています。

2015年4月6日 運用部長 糸島 孝俊

メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
3月2日	日経電子版	「東証10時、一時下げに転じる 高値警戒感から利益確定売り」の中で糸島がコメントしました
3月4日	日経新聞	日経新聞21面 M&I 「株価先行き 好条件そろそろ」の中で伊井がコメントしました
3月5日	日経電子版	豊島逸男の金のつぶやき「株、今から買えるか 試される日本人のリスク耐性」で草食投資隊が紹介されました
3月16日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言「日経平均2万円の意味」と題し渋谷が寄稿しました
3月18日	Financial Adviser	巻頭特集にてコモンズ30+しずぎんファンドについて伊井のインタビュー記事が掲載されました
3月19日	日経DUAL	渋谷健 チェンジメーカーの7つの感情 第3回ではかものはしプロジェクト 村田さんとの対談が掲載されました
3月20日	日経新聞	日経新聞19面 銘柄診断「コロナ 一時3%安 スマホゲーム界、強敵現る」で糸島がコメントしました
3月20日	日経電子版	日本株「3月中に2万円」なお射程 市場がみる行方の中で糸島がコメントしました
3月26日	ライター	(アングル)トヨタ株の静かな最高値更新、来期不透明で目立つ受動的な買いの中で糸島がコメントしました

セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
「ザ・2020ビジョン」 運用報告&マーケット見直し、個別相談会	4月17日(金)	19:00~21:00	神奈川県横浜市 (TKP横浜駅西口カンファレンスセンター)
	4月18日(土)	10:00~12:00	東京都中央区 (TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター)
	4月18日(土)	17:00~19:00	福岡県福岡市 (リファレンス駅東ビル貸会議室)
	4月19日(日)	13:00~15:00	兵庫県神戸市 (plug078)
コモンズ6周年記念イベント	4月5日(日)	11:00~16:00	東京都千代田区(イタリア文化会館)
	5月30日(土)	13:00~16:00	大阪府大阪市(日本綿業倶楽部)
	5月31日(日)	9:30~12:00	愛知県名古屋(ウイंकあいち)
はじめてのコモンズ~はじめて編~	4月30日(木)	19:00~21:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	5月8日(金)	14:00~16:00	
	5月27日(水)	19:00~21:00	
はじめてのコモンズ~投資ビギナーズ編~	4月23日(木)	10:30~12:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	5月19日(火)	13:30~15:00	
パパとママのためのこどもトラストセミナー	4月10日(金)	10:30~12:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	5月15日(金)		
「コモンズ30ファンド」「ザ・2020ビジョン」 ファンド説明会	4月11日(土)	14:00~16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	5月16日(土)		
くつろぎBAR	4月15日(水)	18:00~20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	5月20日(水)		
コモンズまなび塾 「はじめて学ぶ 投資信託」 DAY1~3	4月14日(火)	16:00~17:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	5月12日(火)		
	6月9日(火)		
おいでよコモンズ【なんでも!質問セミナー】	4月9日(木)	14:00~16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	4月13日(月)	18:00~20:00	
	4月16日(木)	10:00~12:00	
こどもトラストセミナー「かきくけコモンズ」 第2回 おかねの使い方	4月29日(祝・水)	10:00~12:00	東京都世田谷区(ウィズダム自由が丘校)

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはお問い合わせください。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成25年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■コールセンター (受付時間/平日 9時~17時) 03-3221-8730	■メール commons-call@commons30.jp
	<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。</p> <p>◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>	
<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会</p> <p>コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>		